

養父市独自の特徴あるものの中に、全国的に有名な朝倉さんしょうがあります。朝倉さんしょうの原産地は、養父市であり、樹に棘がなく実は大粒で香りが強くまろやかな味が特徴とされています。また朝廷や幕府への献上品として重宝されていた歴史的価値がある優位性を生かし、朝倉さんしょう特産品開発事業を実施します。

内容としては、地元原産のさんしょうの苗木購入に対して定額助成を行い、生産量の増産を図ります。さらに、朝倉地区のほか朝倉さんしょうモデル展示ほ場を設置して団地化を図ります。

また旧西谷小学校を活用し操業を行っている但馬醸造株式会社と連携し、耕作放棄地を活用したゆず産地化を図るため、苗木購入等に対する助成を実施いたします。

養父市の地域企業の活性化のためには、サービス、商工業、観光、農業と養父市の全ての情報を発信する場が必要と考えております。そこで、地域観光資源・特産品のブランディングや、地域発の商品開発等の情報発信の場を官民一体となつて図るため、養父市まるごと発信サイト（仮称）の構築支援を行います。

### 5、互いに協力し支えあうまち

高齢化が進み、量から質への成熟した社会へ踏み入れた今日、すべての市民が安心して暮らすことができ、また、訪れる人々も安らぐことができ、人にやさしく、元気で活力あるまちを築くことが求められています。そのためには、年齢や性別、障害、文化などの違いに関わりなく、だれもが地域社会の一員として支えあい、一人ひとりが持てる力を発揮できる仕組みをつくり上げることが重要と考えます。

そのため、「養父市まちづくり基本条例」の理念に基づき、協働のまちづくり推進の一環として、平成21年度から地域自治組織の組織化を図つてまいりました。対象とする18校区において、現在のところ9校区で設立されていますが、3校区においても設立に向けて準備会を立ち上げていますので、残る6校区につきましても組織化に向けた支援を行ってまいります。

また、これら地域自治組織の円滑な運営を側面的に支援するために、地域担当チームの精力的な動きを進めてまいります。

躍の場が求められています。現在組織化を進めております地域自治組織や各種まちづくり団体等におきましても、女性の進出を促すため、役員構成などに女性の人員を確保する取り組みを進めます。

以上、平成23年度の市政執行に当たりまして、主な事業を掲げご説明してまいりましたが、はじめに申し上げましたように将来に向けたまちづくりを進めるため、これまで「養父市まちづくり基本条例」、「第2次養父市総合計画」、「地域自治組織」など一つひとつ着実に布石として手だてを行つてまいりました。

過疎化と少子高齢化が進む中、養父市に居住する人、市内で働く人、学ぶ人、市内にある事業所を持つ企業等の方たちと手を結び、みんなでの養父市を守り、育てていかなければなりません。そのため「養父市まちづくり基本条例」のもと、協働のまちづくりを実践し、皆様のお力を得ながら、まちの将来像である「響きあう心世界へ拓く結の郷やぶく学びと交流と居住のまち」を実現することにより、明るいまちづくりに向けまい進してまいります。

社会経済情勢が依然として厳し



130年の時を経て復活した「立誠舎」

い状況にある中、平成23年度は市民の生活重視と地域経済の活性化に重点を置いた上で、養父市の将来への発展を見据えた予算編成をいたしました。

財政状況は、市民の皆様のご理解とご協力を得る中で、行財政改革の成果により、当面の危機は脱しつつありますが、依然として厳しい状況には変わりありません。「養父市まちづくり基本条例」のもとに、養父市総合計画の実行を市民の皆様と一緒に取り組んでまいります。

※第2次総合計画については、議会で継続審議となりました。